

松伏町公共交通検討事業

—No.63 松伏町—

【事業の目的】

少子高齢化、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、既存の公共交通を生かした持続可能な公共交通の実現のため、町民等の意見を反映させながら地域公共交通の課題解消に向けた施策について検討することを目的としています。

【事業の内容】

松伏町公共交通検討会議（まつぶし公共交通Lab.（ラボ））を設け、公募により選出された町民10名が2つのグループに分かれて町内公共交通のあり方や課題抽出、解決方法などについて検討し、町長へ提案を行いました。

【事業年度】

令和元年度～令和2年度（2か年）

【予算額(千円)】

210千円

（令和元年度：60千円、令和2年度：150千円）

【財源】

一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

松伏町では、令和元年5月から6月にかけて町民1,500人（無作為抽出）を対象とした意識調査を行いました。その結果、「住みやすさ、暮らしやすさに関する満足度」において、公共交通に関連した項目で満足度が低い結果となりました。

また、過去1年間に町から転出した約320人を対象とした意識調査でも、「転出者が現在の住居に決めた理由」として、「交通の便が良い」、「職場や学校などの距離」、「買い物などに便利」などが挙げられ、交通の利便性が高

い所へ転出している人が多いという結果になり、町政モニター員による町政等に関するアンケート調査でも、公共交通（路線バスなど）の整備について55%が「不満」、「やや不満」と回答しています。

これらのアンケート結果から、松伏町が今後の人口減少を食い止めるためには、より町民目線に立った利便性が向上する交通政策が必要だと考え、まつぶし公共交通L a b.（ラボ）を立ち上げました。

【事業のPRポイント】

まつぶし公共交通L a b.（ラボ）は、公募により選出された町民10名が委員となり、2グループに分かれて議論を行い、それぞれの町の公共交通の課題解決の方策を町長に提案しました。

【事業実績・成果・今後の展開】

会議は6回開催され、最終回では課題とその解決方法について町長に提案を行いました。

提案をもとに、令和2年度はサイクル&バスライドを導入し、令和3年度は高齢者タクシー利用券制度の拡充（提案内容の一部）を実施します。

今後も提案を参考に、町の実態に合った交通政策を検討します。

【参考資料】

「まつぶし公共交通L a b.（ラボ）」でのプレゼンテーションの概要

〔 連絡先 〕

企画財政課 総合政策担当 048-991-1818（直通）

【参考資料】

「まつぶし公共交通Lab.（ラボ）」でのプレゼンテーションの概要

Aグループ

【町の公共交通の課題等】

- バスを利用して、容易に公共施設や病院、スーパーに行けない
- バス交通の空白地域（魚沼、築比地、金杉）がある
- 高齢者、妊婦、乳幼児連れには、バス利用が困難
- 高齢者バス・タクシー利用券の利用範囲の拡充

【課題解決の提案】

◎デマンド交通の導入

- ・タクシーを利用したドア to ドアに近い運行
- ・運行は町内のタクシー事業者に委託
- ・町内一律低料金で乗車可

◎高齢者タクシー利用券制度の拡充

- ・75歳以上から70歳以上へ
- ・運転免許保持者も対象
- ・交付枚数の増

Bグループ

【町の公共交通の課題等】

- 北部のバス路線数が極めて少ない
- バス路線の再構築
- 病院、買い物、役場等が点在し、バスの1度の利用で行けない
- 南桜井駅～松伏町～越谷レイクタウン駅のバス路線構築
- バスの時間が読めない（朝夕の遅延）
- 高齢者の足の確保の必要性

【課題解決の提案】

◎サイクル&バスライドの導入

- ・バス停まで遠い方でも、既定のバス路線を活用できるように、バス停に駐輪場の整備
- ・スーパーやコンビニなどの空きスペースを利用できれば（協力店）、施設の利用者増にも繋がる

◎北部と南部を繋ぐバス路線の整備

- ・町内に点在する病院、買い物、役場等へ直接行けるバス路線の構築

- ・北部の方の利便性向上と共に、スーパーや病院等の施設も利用者増が期待され、地域活性化に繋がる

◎バスアプリの導入

- ・バスの位置が把握できるアプリケーションを活用
- ・天候や交通事故等のバスの遅延によるバス利用者の不安を解消し、バスの既存利用者維持と新規利用者の促進に繋げる

◎高齢者タクシー利用券制度の拡充

- ・対象を75才以上から70才以上
- ・枚数を年間12枚から16枚へ
- ・更に必要な方は本人の7割負担により1回（1セット16枚）のみ追加購入可